あいうえおの歌 (北原白秋)

1. 全員が壁を背に輪になって並ぶ。できるだけ互いの顔が見え、声が聞こえるような位置に立つと良い。誰か練習のリーダーを1人決めておく。
2. まず、一番手の人がソロであ行のフレーズを大きくはっきりとした声で言う。声が不明瞭だったり元気がなかったり囁んだりすることなく、正確に大きく発音できたことを全員が確認したら、リーダーの「ハイ! (手拍子1回)」を合図に全員で同じフレーズを発音する。
3. 二番手の人に移ってか行をやる。以下順繰りにわ行まで同様。

あ あめんぼ赤いなアイウエオ

浮き藻に小えびも泳いでる

か 柿の木栗の木カキクケコ

きつつきコツコツ枯れけやき

さ ささげに酢をかけサシスセソ

その魚浅瀬で刺しました

た 立ちましょラッパでタチツテト

トテトテタッタと飛び立った

な なめくじのろのろナニヌネノ

納戸にぬめって何ねばる

は 鳩ぼっぼほろほろハヒフヘホ

日向のお部屋にゃ笛を吹く

ま まいまいねじ巻きマミムメモ

梅の実落ちても見もしまい

や 焼き栗ゆで栗ヤイユエヨ

山田に灯のつく宵の家

ら 雷鳥は寒かるラリルレロ

蓮華が咲いたら瑠璃の鳥

わ ワイワイわっしょいわキウエオ

植木屋井戸替えお祭りだ

「五十音」

やり方は「あいうえおの歌」と同じ

最後の「が」はいわゆる「鼻濁音」で、音の初めをやや鼻に抜けるようにして「ンが」という感じに発音する。ただし、最初の「ン」はできるだけ弱く小さく。

あいうえお、 いうえおあ、 うえおあい、 えおあいう、 おあいうえ
かきくけこ、 きくけこか、 くけこかき、 けこかきく、 こかきくけ
さしすせそ、 しすせそさ、 すせそさし、 せそさしす、 そさしすせ
たちつと、 ちつとた、 つとたち、 てとたちつ、 とたちつて
なにぬねの、 にぬねのな、 ぬねのなに、 ねのなにぬ、 のなにぬね
はひふへほ、 ひふへほは、 ふへほはひ、 へほはひふ、 ほはひふへ
まみむめも、 みむめもま、 むめもまみ、 めもまみむ、 もまみむめ
やいゆえよ、 いゆえよや、 ゆえよやい、 えよやいゆ、 よやいゆえ
らりるれろ、 りるれろら、 るれろらり、 れろらりる、 ろらりるれ
わぬうゑお、 んうゑおわ、 うゑおわぬ、 えおわぬう、 おわぬうゑ
がぎぐげご、 ぎぐげごが、 ぐげごがぎ、 げごがぎぐ、 ごがぎぐげ
ざじずぜぞ、 じずぜぞざ、 ずぜぞざじ、 ぜぞざじず、 ぞざじずぜ
だぢづでど、 ぢづでどだ、 づでどだぢ、 でどだぢづ、 どだぢづで
ばびぶべぼ、 びぶべぼば、 ぶべぼばび、 べぼばびぶ、 ぼばびぶべ
ぱぴぷぺぽ、 ぴぷぺぽぱ、 ぷぺぽぱぴ、 ぺぽぱぴぷ、 ぽぱぴぷぺ
がぎぐげご、 ぎぐげごが、 ぐげごがぎ、 げごがぎぐ、 ごがぎぐげ